

会 議 録

会議の名称	平成27年度第5回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成27年10月29日(木)午後7時00分～9時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、武田秀規委員、田尻 円委員、 長ヶ原美博委員、小森重紀委員、関口敬氏委員、 吉田廣子委員、搦木道代委員 事務局(主査)
欠席者	岩村沢也委員、千葉純平委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) 今期の社会教育委員会会議の取組について (2) 生涯学習5委員合同研修会・新年交流会の見直しについて 2. 報告及び連絡事項 (1) 第39回人権を考える集い
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

○議長あいさつ

1. 協議事項

(1) 今期の社会教育委員会会議の取組について

【事務局】

前回の会議で社会教育委員とは、そもそも何をすれば良いのかという話があった。先日の社会教育委員研修会に参加して学んだ事をもとにディスカッションを行い、今期のテーマを決めたい。

【委員】

地域によって委員さんに温度差があると感じた。富士見市は会議の開催日数が多い事に驚いた。2年間足しても10回未満の会議では活動は難しいと言っているところと、活発に行っているというところがあったが、社会教育委員とサービスを受ける市民の間には温度差があるように感じた。

【委員】

川越の社会教育委員からは、学校などに声をかけて交通安全教室などを社会教育委員主体で行っているという報告があった。他の地区の社会教育委員から「そんな事までは出来ない」との意見もあった。川越の人は会議だけではなく、動く社会教育委員を目指しているとのこと。私は富士見市の地域子ども教室に関わっているが、その中では交通安全教室などのあらゆる活動は行っている。

会議を行う時に会場を変えて行うことによってその施設の状況も把握することが出来るという話もあった。メリットもあるが場所が毎回変わるのも不便な点もあると感じた。

【委員】

日高市の委員さんから「皆さん、地域で色々と活動をして、社会教育委員も長年やっているのにいまだにこのような研修をやっているとは、どういうことでしょうか」という意見を聞いて「確かに」と思った。彼女は諮問途中の会議に参加して、何をすれば良いのか分からずに1年間が過ぎた。質問を出来る雰囲気でもなかったとのこと。しかし、その次の年からは社会教育委員に立候補し構造改革をしているとのこと。委員の選出方法も透明性を持たせたほうが良いとのこと。

「Q&A」を読んでも社会教育委員の役割についてはピンと来なかったが、研修の基調講演で出た「社会教育委員心得7か条」(1. 地域の実情に詳しくなりましょう。2. 地域の施設や社会教育事業を見て住民の声に耳を傾けましょう。3. 地域づくり・まちづくりの活動、NPOやボランティア団体の活動に参加してみよう。4. 研修会に参加して、ネットワークを広げましょう。5. 社会教育委員同士で、情報交換をしましょう。6. 他の委員と協力して、地域の課題と向き合おう。7. 行政の担当者と意思の疎通を図りましょう。)を最初に言われていたら社会教育委員で何をすれば良いかがすぐに理解できると思った。

富士見市の社会教育委員会会議でも分からない事があれば質問をできるような雰囲気づくりが必要だと感じた。

【議長】

個人的にはグループディスカッションよりも東京国際大学遠藤先生の基調講演が参考になった。その先生が社会教育への期待ということで「学校教育との連携の確保に努め家庭教育の向上に資する事になるよう必要な配慮をするとともに学校、家庭及び地域住民その他の関係者、相互間の連携と協力の促進に努めるものとする。」ということがあったので、その部分をテーマとして取り組んでいければ良いと思った。

グループディスカッションでは所沢では、Aグループ、Bグループに分かれて地域で何が出来るかということについて研究調査を行うという手法もあった。

【委員】

遠藤先生の話で独自性も出さなければいけないが、教育委員会との関わりもある程度、保たなければいけない。単に机の上だけでやるのではいけないという話もあった。半年くらい地域の活動に出て行けば、おのずと社会教育の活動が見えてくる、課題が見えてくるという話があった。

過去の提言があるのであればそういった物も読み、それがどこまで生かされているのかを検証する必要があるという話も聞いた。人間地区の会議があり、そこで様々な事例が出されるのだが環境が違うので参考にはなるが、それをそのまま利用するのは難しいかなと感じている。

さきほど川越で社会教育委員が交通安全教室をやっているという話があったが、あれは学校が主体で行っている。川越市内で大きな交通事故があったため学校で何回も交通安全教室を行った経緯がある。

【事務局】

各地区の社会教育委員の皆さんが、社会教育委員の役割についてそれぞれ捉え方が違うという事を感じた。実践事例として良かったのは狭山市の社会教育委員の方が震災をきっかけにして防災について社会教育委員会会議の中で話し合い地区運動会の競技のひとつに防災訓練を取り入れたという発表があった。

会議の日数に関しても富士見市が一番多くて、他では年間3回の会議で諮問に対する答申を出してたり、会場を変えて会議をする。社会教育委員の捉え方としてもそれぞれ地域で行っている事自体が社会教育委員としての活動であり、そこで出た事を教育委員会に伝えることが役目だと捉えている人もいた。

【議長】

例えば、学校教育の現場から社会教育とはこういうものだと思うご意見があれば。

【委員】

それぞれの立場から課題を出して、この会議のテーマが決まれば良いと思う。学校だと大きな課題にいじめ問題がある。人間同士のコミュニケーションの不足や地域連携、家庭の教育力から人の気持ちが分かる、分からないという問題もなっているのかなと感じる。いじめという問題を掘り下げていくと背景には様々なコミュニケーション

ン不足が見えてくる。

学校現場に地域の力をいれようという事で学校応援団が出来ている。学校と地域が連携できるように公民館が間に入っていたりという事が必要だったりする。学校と地域の連携という事が今の流れだと思う。

【議長】

道徳の授業も力を入れたり変えたりしているか。

【委員】

本校では道徳は週に1回ある。授業参観が年5回あるが、1回は道徳の授業をやり、道徳性の育成に特化して保護者と意見交換をするように考えている。

【議長】

個人的な主観だが小学校と中学校を比べると、保護者会にしても中学校は参加が少ない。

【委員】

学校応援団に対しては、まずは興味を持ってもらう事がとっかかりになると思う。学校応援団に参加して授業参観とは違う普段のクラスの雰囲気を見られることが大きな利点。

【委員】

学校応援団の件だが、以前は評議員数名でやっていたが支援者協議会を設置したため民生委員、町会長など色々な人が関わるようになった。給食を一緒に食べたり、体育祭をやったり様々な人が関わり、ご意見をいただけて良かった。地域子ども教室に関してはボランティアが少ないので困っている点もあるが、低学年の保護者会時に子どもたちに人形劇を見せたりしている。どこまでが社会教育委員の仕事で、どこからが地域子ども教室の仕事か分けられないが、そういった事に協力することも、社会教育委員の仕事だと案内しても良いと思う。

【委員】

どこまで社会教育委員としてするべきなのか難しいと思う。そのような活動を喜ばれる保護者とおせっかいと思う保護者がいると思う。やることは良い事だと思うが、是とするか否とするか、その否とする人たちに対してはどのようにフォローするかが難しいところだと思う。その辺りも事も考えた方が良いと思う。

【委員】

子どもは参加希望者のみ面倒を見ており、名簿も出してもらっているので押し付けにはなっていないつもり。

【委員】

P T A 役員の傍ら、仕事もしているので学童にも預けている。やはりフルで働いている家庭とそれ以外の家庭では色が違うのは感じている。P T A の活動は平日の昼が

メインであって、でも学童だと夜の会議がメインだったりする。色々な家庭環境に合わせて会議を設定しても結局は保護者次第で子どもに伝わるか伝わらないかが決まると思う。

【委員】

公民館を利用するサークル等を見ていると、平日午前中は幼児がいるサークル、平日の午後だと年配者のサークル、夜になると町会の集まりのようなもの、公民館を見ると色々な世代の人の関わりがあるんだなと感じる。しかし唯一抜けているのが、働き世代のサークルが無いように感じた。地域の施設なのに働き世代の人達が活動できる施設が無いということになり、それもどうなのかなと思った。

【委員】

学級懇談会の出席率で本校でも保護者会が学校からの連絡だけで終わってしまっている。そこで保護者会を充実させるためにテーマを設け、色々な意見を出してもらう事によって保護者と考え方を共有できるような場にしたいと思っている。この会議でも市民意識調査から何が見えてくるかということをやっても何か見えてくるのではないかと思う。

【議長】

個人的な話だが、PTAに関わってきて地域と家庭はとても難しく、行事に出て来てくれる人は良いのだが、出て来てくれない人をどうするか、集客に関しては様々な努力が行われているのだが本当に難しいと感じる。今回初めて中学校のPTAをやったが小学校とは環境が全然違う。部活動をやっている子、やっていない子でも家庭環境も違うし、経済格差もある。テーマを決めて現場主義で人が集まるようなきっかけを作ったり。研究調査をしたりすることが必要。

【委員】

先日の社会教育委員研修会では、各市町の社会教育委員から取り組んでいる事について報告があったが殆どが社会教育委員としての活動というよりも、個人がやっている活動の報告だった。そもそも肩肘張らずに自分が出来ることを地域でやっているというのが社会教育活動という結論に至った。市町によっては会議が年に数回しかない、富士見市は多い方だと改めて気が付いた。

今まで2期ごとに報告書を出していたけれども、データがあるのであればそれを収集して分析して市の現状を報告するなどの方法もあると思う。それぞれの実感を基にして研究を進めて行くのもそうだが、もうひとつとして裏付けのデータを揃えて報告書をまとめる方法もあると思う。

我々が会議室の中だけではなく、実際に現場に行き確認をするという方法もある。

【委員】

今月初めに町会の運動会があった。その時に公民館の職員が「実はこれって防災訓練なんですよね」と言っていた。テントを張って、受付の人がいて、地域ごとに集まったりして、小学校は避難所になるので、小学校にはどういったものがあったって、何が出来るとかの学ぼう事ができる。

【委員】

諏訪小学校は最後のリレーが今年から担架リレーに変わった。竹の棒と毛布を使用して。

【委員】

保護者会で参加しない親の話が出たが、引っかかっているのが参加したくなくなるケースがある。保護者会でこういった考えでこれをやっているという説明ではなく、事業計画を見せてただの報告だけになってしまっている場合がある。

今の保護者ははっきりしているので保護者会の日程が変わっただけで参加できない人が大勢いた。

【委員】

根本的な話で、母親が働かないと生活が成り立たないという構造的な問題がある。昔は母親が家にいたという家庭があったが、今は共働きでないと生活が成り立たないという家が多いし、核家族化もしているし。古くから住んでいる世帯と駅に近い新住民の家庭は違うので地域性はあるのだと思う。

【委員】

先日問い合わせがあった「うちのアパートは町会に入っていないので入りたい」という問い合わせがあったのが嬉しかった。行事のたびに町会加入のテーブルを用意したり、町会ニュースを発行したりしている。地域と家庭と学校の連携の大切さを感じる。

【議長】

富士見市の意識調査だが1月に結果報告がある。

【委員】

分析と経年変化を見ても面白い。

来年から18歳選挙権という話もある。若い人はどうしても外に目が行きがちだが、そういった人たちを地域がどう受け入れて育てて行くのかが重要だと思う。

地域人に如何に育てるのかということも大事な部分だと思う。

【議長】

地区体育祭での防災訓練はすごく良い取り組みだと思う。地区体育祭はPTAが主体でやっているが役員のための地区体育祭になっているので、防災訓練を取り入れて更に良くしていく事が出来るのではないだろうか。

これを社会教育委員の提案として、どうせ地区体育祭をやるのであれば防災訓練を組み入れるのは有意義なのではないかと思う。

【委員】

ちょうど地区体育祭が9月～10月で市の防災訓練が10月の末なので、地区体育祭に出た人が市の防災訓練にも出てくれるような流れが出来れば良いのかなと思う。

【事務局】

今日の話それぞれ持ち帰って今期の社会教育委員会議のテーマを次回の会議の時に持ち寄ってもらう方法はどうか。

平成24年度の意識調査の結果も郵送する。

【委員】

富士見市は、まつりが多いので定住意識が高いという話を聞いたことがある。

【事務局】

平成24年度の調査では「商業施設が少ない」という意見が多くあったが、平成27年度調査ではどのような変化になるか。

【委員】

大型ショッピング施設が出来ても、地域のお母さんにとって使い勝手が良い施設かどうかは分からない。

【事務局】

次回の会議の時にそれぞれ取り組むテーマを具体的な形でもってきもらう。

(2) 生涯学習5委員合同研修会・新年交流会の見直しについて

【事務局】

※配布資料を基に説明

見直し案について次の会議（11月30日）の時に決められれば良い。

【委員】

審議会の委員さんがこれだけの準備が出来るかどうか問題。

【事務局】

昨年度、審議会から2つ案を提案してもらったが、調整した結果実現せずに代案を生涯学習課で考えた。講師探しや依頼、当日の運営も含めて5委員会に依頼をしたい。

参加できる、できないを含めて考えていただきたい。

2. 報告及び連絡事項

(1) 「第39回人権を考える集い」

【事務局】

前回の会議で富士見市人権教育推進協議会主催「人権尊重教育講演会」と「人権を考える集い」の日程が重なっていたが、「人権尊重教育講演会」の日程が変更になったため参加できる方はお願いしたい。

(2) 地域や所属団体などについての情報交換

【委員】

子どもから聞いた話だが、小学校の先生がある生徒に対して「テストで間違えた箇所は他の生徒に教えてもらいなさい。」と言ったらしいが、それはいじめの原因になってしまうのではないかと思うがどうか。

【委員】

どういう趣旨で言っているか分からないが、教師が指導するのが基本だと思う。

【委員】

何を意図してやっているのかだが、基本的には教員が直しながら考え方を教えるのが指導になる。そのテストもどのようなものかによっても変わってくると思う。

【議長】

市P連の役員をやっている。もしかしたら今後、市P連の行事に社会教育委員としてご出席いただくよう要請する事があるかもしれないので、その時はお願いしたい。

3. その他

1 1月会議日程

日程：平成27年11月30日（月）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

※1月の会議日程については事務局から表を送り次回の会議に際に決める。

4. 閉会

○副議長あいさつ

(閉会)